

綾部の自然風土で培われた感性

神農巖さん 人間国宝に

本市出身の陶芸家、神農巖かんのいわさんが重要無形文化財保持者（人間国宝）に選ばれました。小学校3年生から高校卒業までの約10年を綾部市で過ごし、その後の大学のクラブ活動でのめり込んだ陶芸の世界。人生を変えた出会いや古里への思いなどを穏やかな口調で語ってくれました。



高校時代は油絵も

「小学生の頃は、由良川や藤山（寺山）、大本神苑の森でよく遊んでいた」。綾部の豊かな自然の中で育った神農さんは、少年時代か

ら絵を描くことが好きで「図画工作の通信簿はいつも5だった」と当時を振り返ります。

高校2年生で、中学生から続けていたバレーボールをやめ、美術部へ入部。顧問の先生に指導してもらいながらも、ほぼ独学で油絵を描いていました。その頃は、ただ漠然と「美術に関することがしたい」と思っていました。

20歳で陶芸を志す

高校卒業後は近畿大学に進学。「経営学の講義に身が入らない中、門をたたいたのが大学の陶芸部

青磁に衝撃。この道で行こう！

だった。きっかけは入学前の春休みに出掛けた一人旅。旧中山道の馬籠（岐阜県中津川市）で、偶然同宿になったのが部の先輩たちだった。あの出会いがなければ、今の私はない」と感慨深げに話してくれました。

陶芸にはすぐに夢中になりました。「初めて土を触り一瞬で魅了された」とクラブ活動に没頭。合宿で訪れた焼き物の産地ののどかな環境にも引かれ「ゆったりとした時間の中で仕事ができたら」と思うようになっていったそうです。そんな折、京都市の博物館で

神農巖さん Profile

昭和32年生まれ。中ノ町三丁目出身。昭和51年、綾部高卒。55年、近畿大学卒。56年、京都市工業試験場窯業本科修了。57年、府立陶工職業訓練校成形科卒。58年、京都市工業試験場窯業専攻科修了後、京都清水焼窯元で修業。62年、大津市に築窯し独立。日本伝統工芸展で優秀賞を2度受賞するなど高い評価を得て、平成24年、紫綬褒章受章。25年、滋賀県指定無形文化財「青磁」保持者指定。令和6年、重要無形文化財保持者（人間国宝）認定。

新たな技法を考案

大学を出た後は、試験場や訓練校で本格的に陶芸を学びます。「博物館の青磁をまねて作り、展示品と見比べる。何回も繰り返しでしたが、本物には近付けなかった」と苦悩の日々を送る中、模倣や再現ではなく「自分なりの青磁を焼こう」と気持ちを切り替えました。試験場や訓練校を経た後は、製

陶所で5年間修業し30歳で独立。独自の表現を追い求め、泥状の磁土を筆で塗り重ね、器に線文を浮かび上がらせる「堆磁」という技法を生み出しました。青磁の表現

郷土や関わってくれた全ての人に感謝

に新たな可能性を開いたとして高い評価を得ています。

夢は世界との交流

「まさか、と思った」。文化庁から人間国宝の一報を電話で聞いたときの率直な心境を口にし「重責

いています。「私の感性は綾部の美しい自然の中で培われた。郷土や関わってくれた全ての人に感謝している」。インタビューの最後、顔をほころばせながら古里へメッセージを送りました。



独自の「堆磁」技法をする神農さん。筆を使い優美な曲線を描く

陶磁器2点を展示中

神農さんの人間国宝認定を記念し、市が平成23年10月に寄贈を受け所蔵している陶磁器2点を一般公開しています。

- 期間 9月30日(月)まで
- 場所 あやバ・日東精工アリーナ (市民センター、西町三丁目)
- 時間 施設開館中



はくじついでせんもんばち 白磁堆磁線文鉢



せいはいくじついでせんもんつぼ 青白磁堆磁線文壺



岩崎勝巴さん(東山町)

ものづくりが好きで、趣味はミニ下駄作りと話す岩崎さん。友人や孫などに渡すことが生きがいになっているそうです



今年は35人

本年度の対象は大正14年4月2日から大正15年4月1日までに生

白寿の祝い

99歳おめでとーございませう

「百」の字から「二」を取ると「白」の字になることから、99歳は「白寿」と呼ばれています。山崎善也市長は8月28日、白寿を迎えた人のお宅を訪問。記念品を渡し、長寿をお祝いしました。

- まれた人。男性7人、女性28人の計35人(9月1日現在)で、次の皆さんです(敬称略・誕生日順・掲載了解者のみ掲載)。
- ▽岩崎勝巴(東山町)▽篠原富榮(高津町)▽片山きりの(釜輪町)▽余田幸男(新宮町)▽大田ヤエ(五津合町)▽岩崎ちる多(同)
 - ▽白波瀬芳子(鷹栖町)▽朝倉一枝(大島町)▽丸山芳子(桜が丘一丁目)▽中野世紀(神宮寺町)▽梅垣正(志賀郷町)▽東吉野(青野町)▽上田春野(上杉町)▽石原たね子(忠町)▽村上美登里(栗町)
 - ▽梅原アサノ(味方町)▽森本節子(有岡町)▽出野節(上延町)▽三ッ谷春枝(老富町)▽大島幸子(若松町)▽田中トシエ(位田町)
 - ▽鈴木ヤエ子(上杉町)▽四方修吉(里町)

人間国宝



人間国宝とは、重要無形文化財の保持者として各個認定された人物を指す通称である。

その人間国宝に本市で育った陶芸家・神農蔵さんがこの度認定の運びとなった。人間国宝の数は芸能・工芸技術合わせて100人余り、その希少性と価値が分るというものだが、もちろん本市の関係者では初めてのことで、まさに快挙。今度で日本工芸会会長賞や紫綬褒章を受章するなどしてきた経歴から、いずれは：と期待はしていたが、吉報は思ったより早く届いた。

生まれは福知山市だが小学3年生の時に本市に移り住み、少年から青年の多感な時期をこの地で過ごした。私は綾部小学校、中学校、高校の同級生として付き合いがあった。長身に整った顔立ち、中

学時代はバレエ部、高校卒業後、大学を出ると心機一転、陶芸の道を目指し、府立陶工職業訓練校にて基礎から学び、成型技術や青磁釉薬の研究に励んだという。特定の師につくことなく、独自の技法を苦勞の末に極めて様々な賞を受けるなど確固たる境地を築いていくのだが、今は琵琶湖を望む地に窯を構えて創作に励む。水を想わせる清楚な色調で優美な造形に絶妙の起伏を施した作風が特徴の一つだ。

市長に就任した直後に、「自分の娘を嫁がせるようなものだ」と笑いながら寄贈してくれた逸品は市役所と中央公民館に飾ってあり、私の自慢の一つである。今も実家に帰省した折は市長室に寄って近況を語ってくれ。さすがに人間国宝に認定された後はマスコミ対応等に忙殺されたようだが、秋の個展に向けて新たな作品に挑んでいるようで創作意欲に衰えはない。先月、久しぶりに会食する機会を得たが、彼が選んだのはある駅前の居酒屋。飾らない人柄は変わらず、枝豆と焼き鳥を肴に乾杯した生ビールのお味は忘れられない。

山崎善也(綾部市長)

お祝い由 大丹生 雫(上林小4年生)
和紙と洋紙の違い
和紙は洋紙より長持ちすることを学びました。ちぎりにくい方が和紙、すぐにちぎれる方が洋紙だと知りました。

お祝い由 大丹生 唯(上林小6年生)
日本の伝統 黒谷和紙
和紙は約2,000年前に誕生し、1,400年前に日本に入ってきてから、作り続けられています。この伝統を将来につなげていきます。

いちご 萩野 一花(豊里小3年生)
黒谷和紙会館にある川遊び
川には大きいカニやいろいろな魚がいました。もう一回水鉄砲で遊びたいし、魚を捕まえてみたいです。

宇野 瑛亮(豊里小4年生)
水鉄砲で川遊び
里山交流研修センターで作った水鉄砲で水の掛け合いをして、楽しかったです。黒谷和紙の歴史や水鉄砲の作り方を知れてよかったです。



綾部こども探偵 調査報告

片山 直樹(東八田小3年生)
黒谷を大切に作った和紙
黒谷和紙会館は、昔の方法で和紙を作っているところです。黒谷和紙には歴史があると発見しました。

こしろう 杉山 輝志朗(綾部小6年生)
里山交流研修センター遊び
里山交流研修センターでスイカ割りをし、スカッとしました。水鉄砲は竹でも作れることを学びました。



市と京都産業大学は8月8、9日に「綾部こども探偵」を開催しました。3回目となる今年は市内の小学生9人が参加。子どもたちが「探偵」になって綾部の魅力を自ら調査しました。(敬称略)

田藤 愛梨(福知山公立大3年生)
綾部市の魅力発見
今回、綾部市役所のインターンシップで、綾部こども探偵の助手として京産大学生とともに同行しました。学びや遊びを取り入れた企画で、綾部市の魅力を自分の目で発見することができる、とても良い機会だと感じました。

帆風 波音(綾部小3年生)
黒谷和紙会館にある川遊び
川は浅くて石が100個くらいありました。すばらしい大きなカニもいました。魚は川底と同じ色であまり見えませんでした。

帆風 光洋(綾部小6年生)
川で水遊び
川で水鉄砲遊びをしていると、川と黒谷和紙会館がつながっていることに気がきました。大学生とも遊べてとても楽しかったです。

福井 美夏(綾部小3年生)
黒谷和紙会館にある川遊び
川は浅い所や深い所がありました。川が思っていたより冷たくなかったので、たくさん動いて楽しかったです。



綾部の魅力を自分の目で発見

この企画は、子どもたちが本市の魅力を調査し発信することで、郷土愛を育むことを目的に開催しています。今回は、こども探偵9人が、助手の京都産業大学現代社会学部の学生5人と一緒に調査しました。

初日は▽農夢(位田町)▽里山交流研修センター(鍛冶屋町)▽黒谷和紙会館(黒谷町)の3カ所を巡回し調査。万願寺甘とうの収穫作業を体験したり、工作や川遊びを行ったりしながら綾部の魅力を確認しました。

2日目は、それぞれが調べたことや感じたことを報告書にまとめて発表。助手の大学生から文章の書き方や表現方法のアドバイスを受けながら、全員がA3用紙いっぱい、書き上げ、綾部の魅力を自分の言葉で伝えました。

同大学の滋野教授は「自分が住んでいるところの近くを探偵となっている調査することで、良さに気付くことができる。探偵の目で自分のまちを見ることで綾部のまちが好きになる」と探偵に伝え、2日間の調査を締めくくりました。

地域で見守り、みんなで防ぐ
 高齢者への深刻な人権侵害の一つが虐待です。暴力的な行為(身体的虐待)だけでなく▽暴言や無視、嫌がらせ(心理的虐待)▽必要な介護サービスを利用させない、世話をしない(介護・世話の放任、放棄▽勝手に高齢者のお金を使う(経済的虐待)―などのほか、性的な虐待もあります。
 こうした高齢者への虐待は、密室性が高く表面化しにくいという特徴があります。そのため、隣近

届きにくい高齢者の声
 人は誰もが、年齢を重ねるにつれ心身ともに衰えが生じ、問題を認識できなくなったり、注意力や集中力を保つことが困難になりました。そして、日常の中で困難を抱えていても「声なき声」として周囲に気付かれず、高齢者の人権が侵害されていることがあります。

シリーズ 人権を考える
気付いていますか？ 高齢者への虐待



市は8月22日、市役所で令和6年度1回目の高齢者対策推進協議会を開催。認知症の人への支援など、関係機関と意見交換を行いました

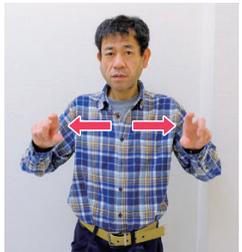
所で日頃から声を掛け合い、高齢者とその家族が孤立しないように見守ることが大切です。
 高齢者の中には、困難があっても声を上げられない人や、虐待されている自覚がなく危険な状態になっている場合もあります。疑わしいと思ったときは、地域包括支援センターⅡ6面参照Ⅱに相談してください。見守りや声掛けを増やすことで虐待を防ぎ、高齢者の権利が守られ安心して暮らせる、そんな地域づくりを進めましょう。

資料館だより

資料館第26回特別展示
「今がアツイ!綾部九鬼藩—あやべの藩と領主たち—」
 綾部藩や九鬼氏に関する資料のほか、江戸時代の綾部市内に存在した山家藩や藤懸領などに関連した展示を行います。
 ※詳細は市ホームページ(記事ID4781)をご覧ください。
会期 10月5日(土)~12月20日(金)※月曜日は休館(参考:特別展の設営等のため9月28日(土)~10月4日(金)は休館)
時間 午前9時~午後5時
場所 資料館(里町久田21番地の20)
入館料 無料
関連イベント
 ●講演会「綾部藩主九鬼氏のルーツについて ~戦国武将 九鬼嘉隆と九鬼水軍~」
 日時 10月12日(土)午後1時30分~3時
 場所 中央公民館中央ホール(里町)
 ●展示解説 学芸員による展示解説(30分程度)
 日時 10月26日(土)①午前10時~、②午後3時30分~
 ●山家陣屋・山家城見学会 日程 11月10日(日)
 ※詳細はお知らせ版をご覧ください。
<問い合わせ>
 社会教育課文化財担当 ☎(42)4328 📠(43)2134
 資料館(土・日曜日、祝日の連絡先) ☎(43)1366 📠(43)2134



両手の親指と人差し指を前に向けて開き



左右へ引き離す
 協力:京都府聴覚障害者協会綾部支部

手話
つながろう
今月の手話
普通

9月は認知症月間

理解を深め共生社会の実現へ

「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が本年1月1日に施行されました。法律では、9月を「認知症月間」、9月21日を「認知症の日」と定めています。この機会に、認知症に関する正しい知識と理解を深め、認知症の人を尊重しながら、お互いに支え合う活力ある共生社会を実現しましょう。

5人に1人が発症
 認知症は、さまざまな脳の病気により、脳の機能が徐々に低下し、記憶力や判断力、言語能力などの認知機能が徐々に衰え、日常生活に支障をきたす状態をいいます。高齢化の進展に伴い、来年には高齢者の約5人に1人が認知症になると予測されています。また、高齢者に限らず、65歳未満で発症する可能性もあります。
1人で悩まず相談を
 認知症のリスクは加齢とともに高くなりますが、早期発見と適切な治療を行うことで、進行を遅らせたり、症状を和らげたりすることができるとあります。物忘れが気になるなど「認知症かも」と感じたら、まずはかかりつけ医や相談窓口(右下表)へ気軽に相談ください。また、地域包括支援課(西庁舎1階)では「よりよいガイドブック」(令和7年3月改定予定)や「認知症ハンドブックⅡ」写真Ⅱを配布しています。認知症の人や家族の支援に役立つ情報を掲載していますので、ぜひ活用ください。

関係機関と連携し支援



認知症地域支援推進員は、医療・介護・地域支援機関とつなぎ、認知症の人や家族を支援する役割を担っています。少しでも気になることがあれば、気軽に関係機関等に相談してください。本人はもちろん、家族の不安も和らげることができます。
 「認知症ハンドブック」には、症状の経過を記録するメモが付いています。受診時に医師に見せることで、診断に役立ちますので、こまめに記録しておくことをお勧めします。

相談窓口

地域包括支援センターは、高齢者の相談窓口です。気になることがあれば悩まず、気軽に相談してください。

地域包括支援センター		
名称	対象地区	連絡先
市東部地域包括支援センター(いこいの村・とくら福祉センター内、十倉名畑町)	山家口上林中上林奥上林	☎(21)5295 📠(21)5296
市中部地域包括支援センター(市福祉ホール内、川条町)	綾部中筋吉美西八田東八田	☎(43)2888 📠(43)2882
市西部地域包括支援センター(市ふれあいの家、栗町)	豊里物部志賀郷	☎(21)5011 📠(21)5106
市地域包括支援センター(綾部市役所、若竹町)		☎(42)4262 📠(42)0048